

経営比較分析表（令和3年度決算）

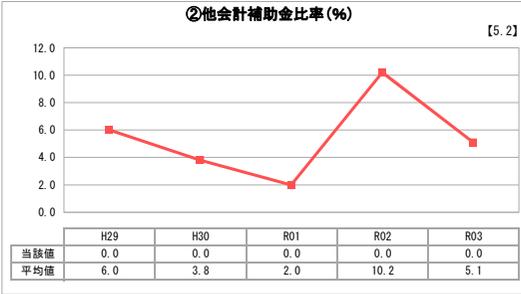
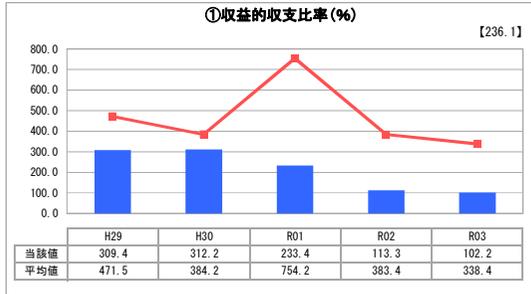
京都市綾部市 綾部市営綾部駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	13	

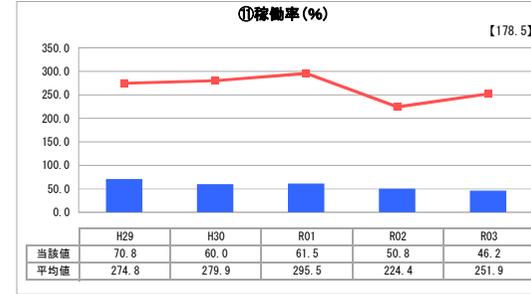
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,019
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
65	200	無

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
綾部駅北駐車場は収容台数45台の普通駐車（時間貸し）と20台の定期駐車（月極め）として運用していましたが、令和3年2月より35台の普通駐車（時間貸し）と30台の定期駐車（月極め）に変更しました。新型コロナウイルス感染症の影響により利用台数が大幅に減少した令和2年度に引き続き、普通駐車・定期駐車共に減少傾向にあります。経費のほとんどは入出庫管理システムの運用経費で、収入額で賄えています。

2. 資産等の状況について

特になし。

3. 利用の状況について

綾部駅北駐車場は駅に隣接する交通結節点の駐車場として重要な役割を担っています。収容台数45台の普通駐車（時間貸し）と20台の定期駐車（月極め）として運用していたものを利用実態に合せ、令和3年2月より35台の普通駐車（時間貸し）と30台の定期駐車（月極）に運用形態を変更しました。令和3年度の稼働率は令和2年度に比べ幾分回復しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により全体の利用台数は減少しています。時間貸し駐車は鉄道利用者に多く利用されており、定期駐車は鉄道利用の通勤者の他、綾部市街地への通勤者の駐車場や周辺住民の自家用車駐車場として利用されていますが、共に利用台数の減少傾向が見られます。

全体総括

綾部駅北駐車場は綾部駅の北西に隣接しており、収容台数65台で運用しています。駅に隣接する立地から、交通結節点の駐車場として鉄道利用者の割合が高くなっています。鉄道利用者以外の利用としては、定期駐車などで近隣住民の自家用車保管場所としての利用があります。令和3年度は普通駐車・定期駐車共に令和2年度より利用台数が減少しており、感染症終息後の利用状況の推移を見守っていく必要があります。営業費用としては24時間無人営業を行うための入出庫管理システムに関する経費が高い割合を占めており、その他の経費は低く抑えられます。また、綾部駅北駐車場は平成20年に移転、供用開始したもので施設も比較的新しいことから今後の設備投資の必要性も低いと考えられます。なお、利用者の利便性向上を図るため、令和4年度に電子決済サービスを導入しました。今後も稼働率の改善状況を注視しつつ経営維持を目指します。

2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0

